

凡事徹底 野間中だより

平成27年4月24日
第209号
野間中学校



授業参観・PTA総会・学年懇談会



4月16日(木)今年度初めての授業参観を行いました。担任による教科・道徳などの授業が行われ、たくさんの保護者の方に参観いただきました。その後、PTA総会・学年懇談会を行いました。

授業参観



PTA総会



PTA総会であいさつをする
平成27年度岩川新会長

各学年学年懇談会



大変お忙しい中、たくさんの保護者の方々、また教育委員の石田さへ子様、川上英雄様にも授業参観・PTA総会・学年懇談会にご参加いただきありがとうございました。

平成26年度石黒会長に寺田校長より感謝状が贈られました。

経団連会長 榊原定征さんより 図書を寄贈していただきました。

経団連は日本の代表的な企業1,309社、製造業やサービス業等の主要な業種別全国団体112団体、地方別経済団体47団体などから構成されています。その経団連会長に昨年、野間中学校の卒業生である榊原定征さんが就任しました。

榊原さんは高校生の頃学校の図書館でたまたま手に取った科学雑誌で、「炭素繊維」の発明を知りました。アルミより軽くて、鉄より強い炭素繊維は将来アルミにかわって飛行機 of 材料になるかもしれないという記事を読んだそうです。そのとき、榊原さんは「自分もこんな研究がしたい」という思いを抱いたそうです。

母校である野間中学校の生徒にぜひ読んでもらいたいと科学を中心とする図書をたくさんいただきました。

図書は本校図書館に「榊原文庫」コーナーをつくり、4月より生徒に貸し出されています。

榊原さんありがとうございました。



編集部より 「野間中だより」をご愛読ありがとうございます。「野間中だより」に関するご感想やご意見がございましたら、編集部までお寄せください。なお次号はGWの関係で5月22日発行予定です。

野間中だより編集部 nomajh_dayori@yahoo.co.jp

新入生歓迎会

4月9日(木)、生徒会主催の新入生歓迎会が行われました。2・3年生からは野間中の1年間をスライドで紹介し、各部の代表が趣向をこらした演出で部活動を紹介をし、1年生を歓迎しました。



新入生の声
 ○先輩たちが打つ音やボールの速さに驚きました。
 ○面白くて分かりやすく説明をしてくれてうれしかったです。
 ○初めて間近でバレーを見ました。すごいサーブやスパイクでびっくりしました。私もがんばろうと思いました。
 ○はやく部活動をやりたいです。

インターネット利用状況調査結果について

主幹教諭 村松 秀樹



昨年度、美浜町が町内の中学生と保護者を対象にインターネットの利用状況を調査し、美浜町家庭教育連絡推進協議会でその調査結果が報告されました。野間中学校では生徒271人、保護者255人が調査に協力いただきました。その中で、「インターネットの利用について家庭でどんなルールを決めていますか？」という問いに対する生徒と保護者の結果が次の表1です。

表1	中学生	保護者
利用時間	23%	40%
利用料金	10%	14%
利用場所	10%	24%
相手	3%	10%
閲覧サイト	12%	26%
決めていない	48%	27%

表1の結果を見ると、子どもと保護者で守るべきルールですれが生じていることがわかります。とくに子どもの約半数が「ルールは決めていない」とこたえているのに対し、保護者は7割近くがルールを決めているとこたえています。

次に、フィルタリングについて、「お子さんの携帯電話やスマートフォンにフィルタリングは入っていますか？」という問いの結果が表2です。

表2	中学生	表2	保護者
利用している	20%	利用している	46%
利用していない	16%	存在を知らない	8%
わからない	64%	知っていたが利用していない	46%

表2の結果を見るとフィルタリングの存在を知っているのだが利用していない(設定していない)という保護者が多いことがわかります。

また、インターネットを利用で睡眠不足の中学生が増えていることもわかりました。インターネットの利用について今一度、各家庭で利用についてのルールの確認などをしていただければと思います。

雨の多い4月でした

生徒指導主事 森下 功一

4月に入り、例年になく雨が続き、新入生も慣れぬカッパを着ての自転車登下校で大変だったかと思います。雨が続きたいせいか、下校の際、「傘がなくなった」ということが多くありました。そこで、「野間中学校に入学して自分の傘がなくなったことはありますか」と2・3年生全員に聞いたところ、17人、のべ26回あったとのこたえでした。なくなった傘は透明のビニール傘が多かったのが特徴でした。

今まで昇降口の傘置き場は学年ごとに分かれていましたが、今後はクラス男女ごとに分け入れて入れる指導を続けると同時に記名をしっかりとさせていきたいと思っています。安心して傘を置くことができない学校に絶対ならないようにと全校の生徒に伝えました。

